

熊の出没数の変化

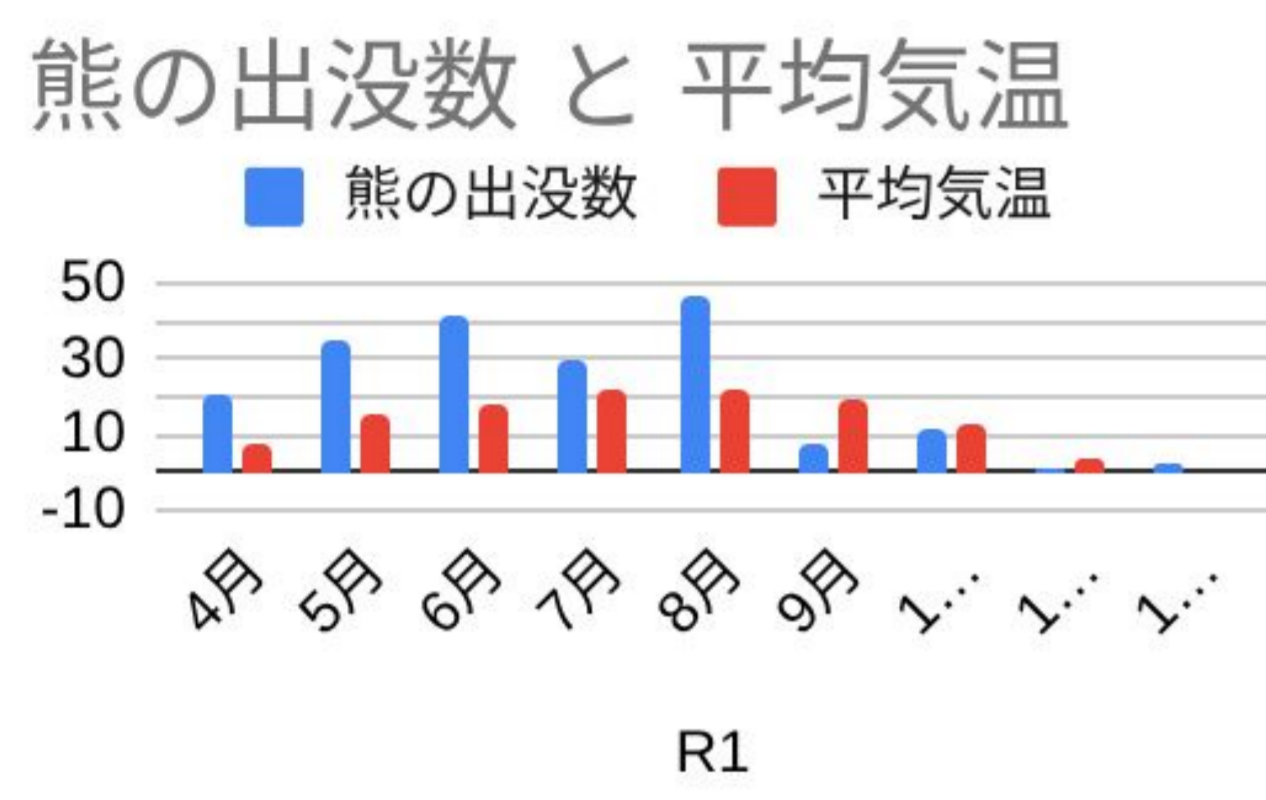


札幌旭丘高校 小林凱生 吉田桃菜 野口ほのか

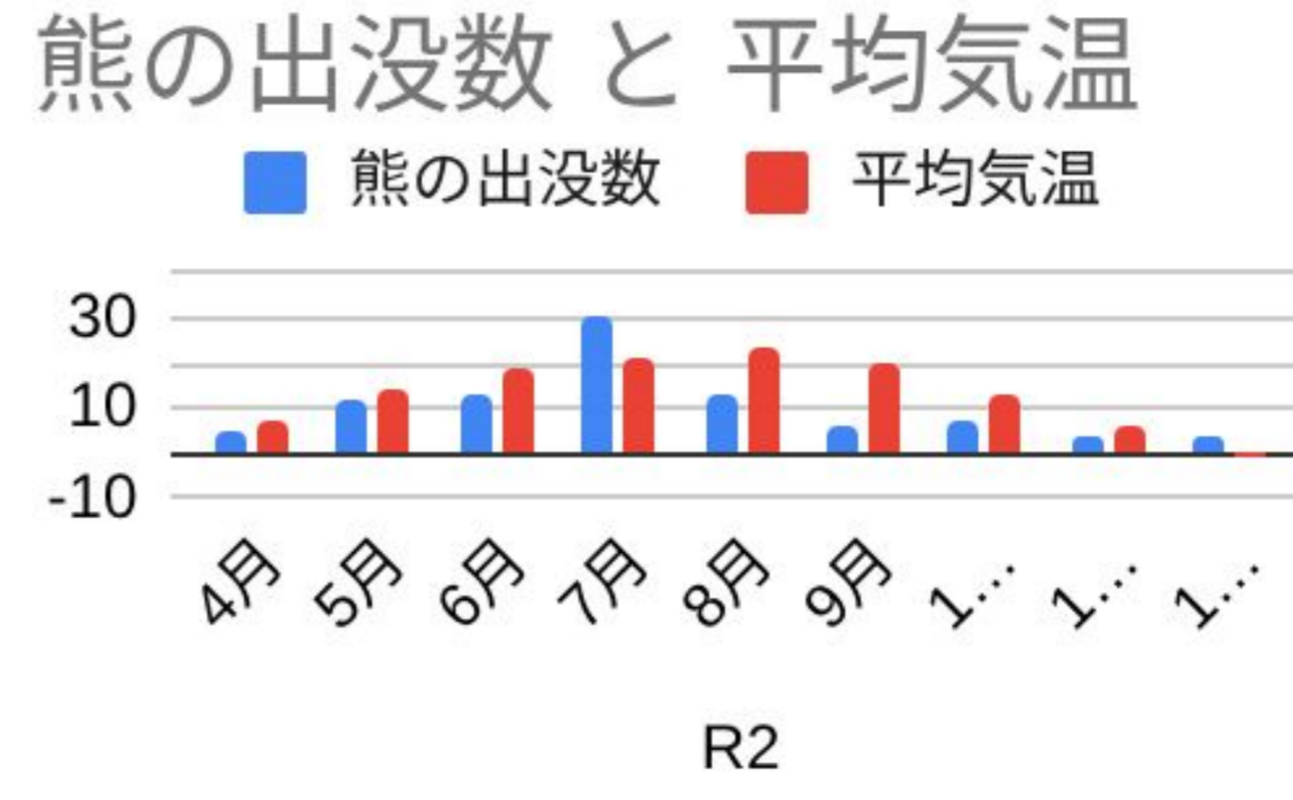
テーマ選定の理由: 最近のクマの目撃情報や被害が多い理由が気になったため

仮説①: 平均気温が上がると熊の出没数も増える

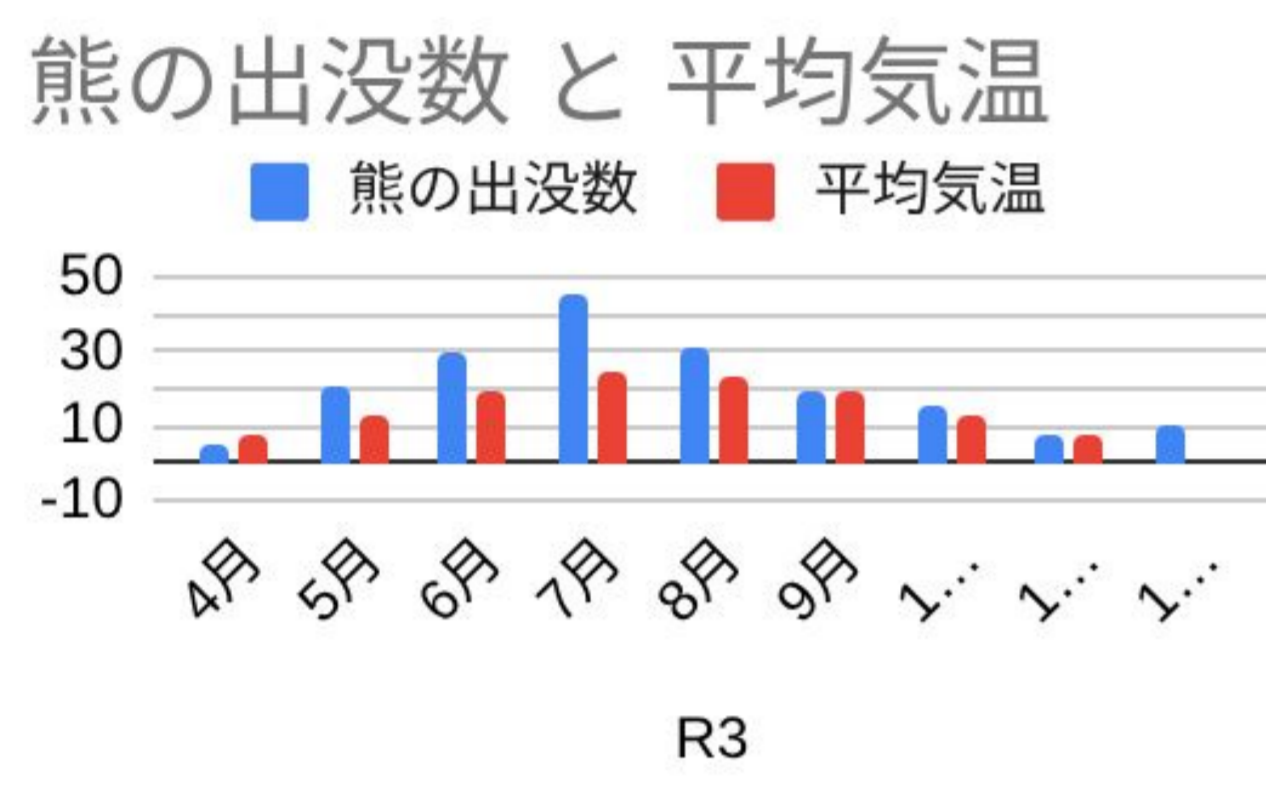
検証: R1~R6の月別平均気温と月別の熊の出没数をグラフにして関係を調べる



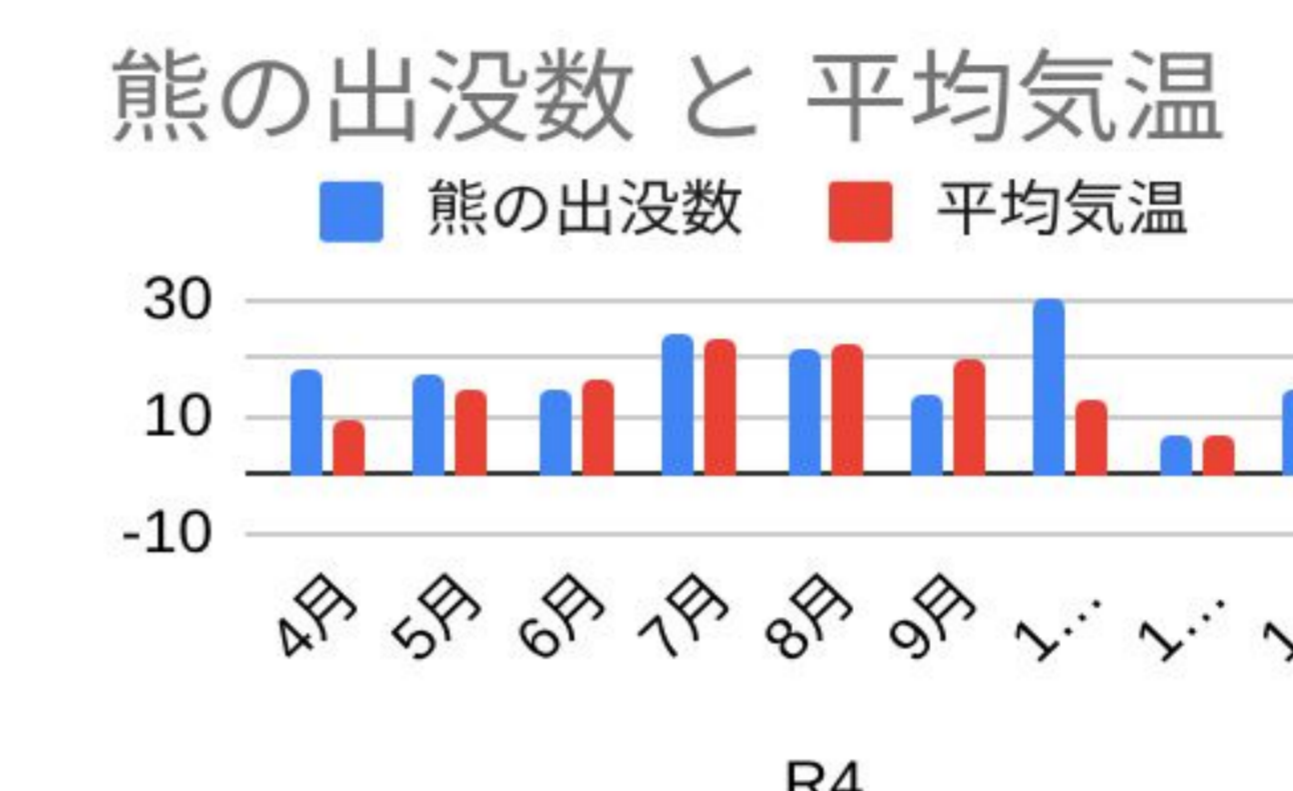
熊の出没数	平均気温
4月	21
5月	35
6月	42
7月	30
8月	47
9月	7
10月	11
11月	1
12~3月	2



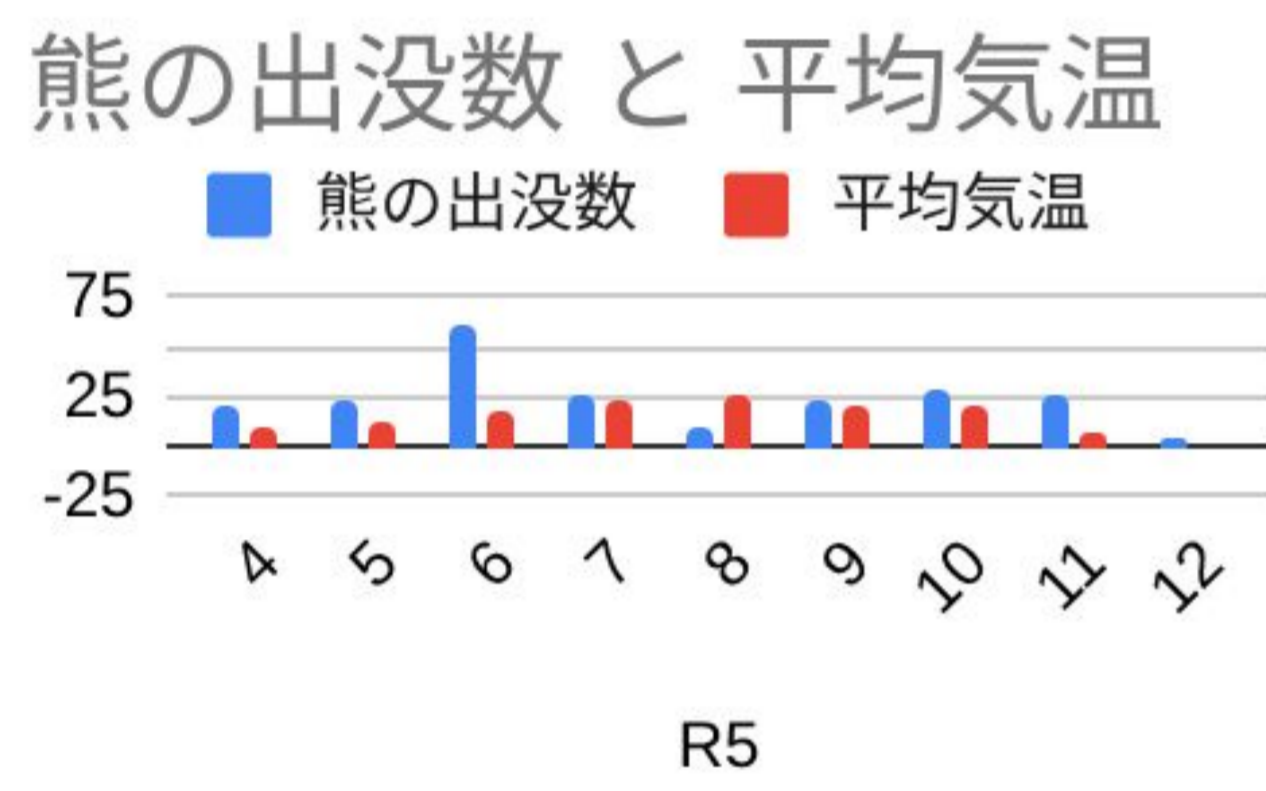
熊の出没数	平均気温
4月	5
5月	12
6月	13
7月	31
8月	13
9月	6
10月	7
11月	4
12~3月	4



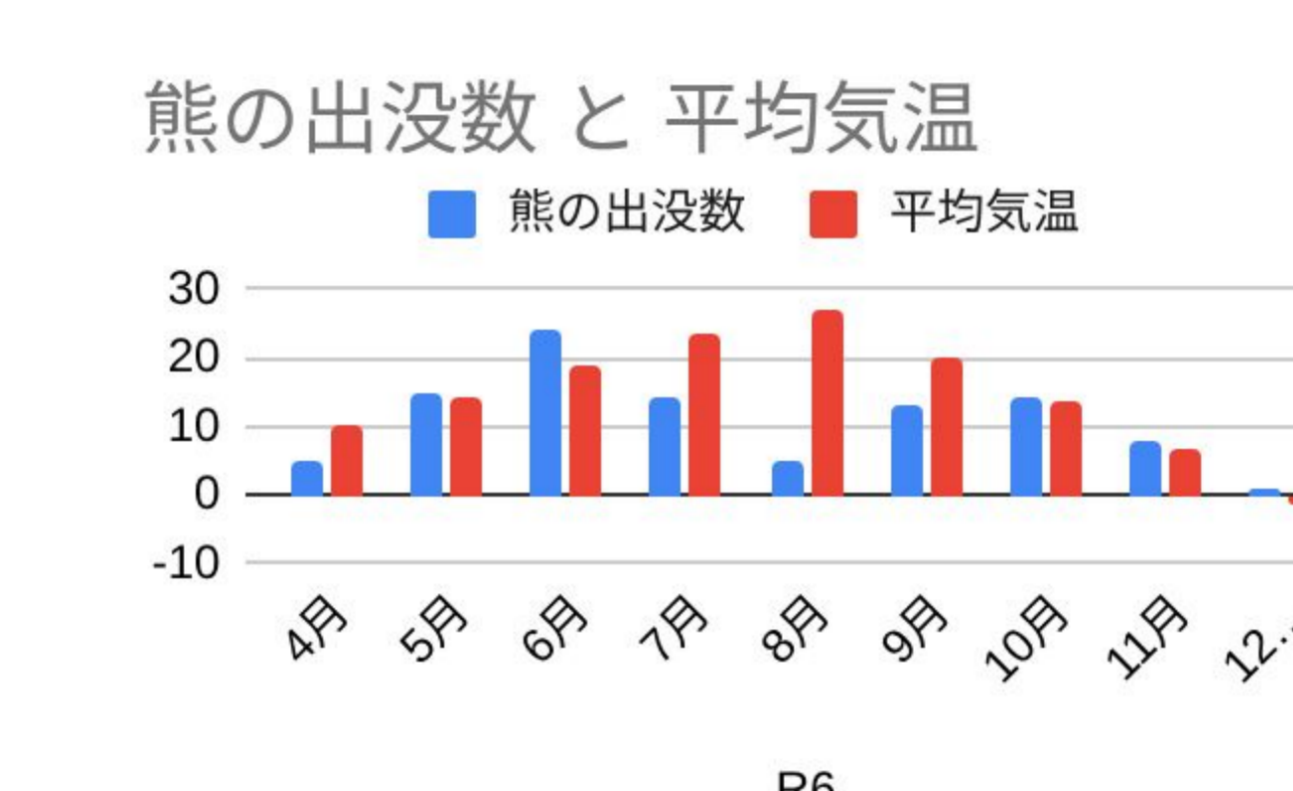
熊の出没数	平均気温
4月	5
5月	21
6月	30
7月	46
8月	31
9月	19
10月	15
11月	8
12~3月	10



熊の出没数	平均気温
4月	18
5月	17
6月	15
7月	24
8月	22
9月	14
10月	30
11月	7
12~3月	15



熊の出没数	平均気温
4月	21
5月	24
6月	61
7月	27
8月	11
9月	24
10月	29
11月	26
12~3月	4



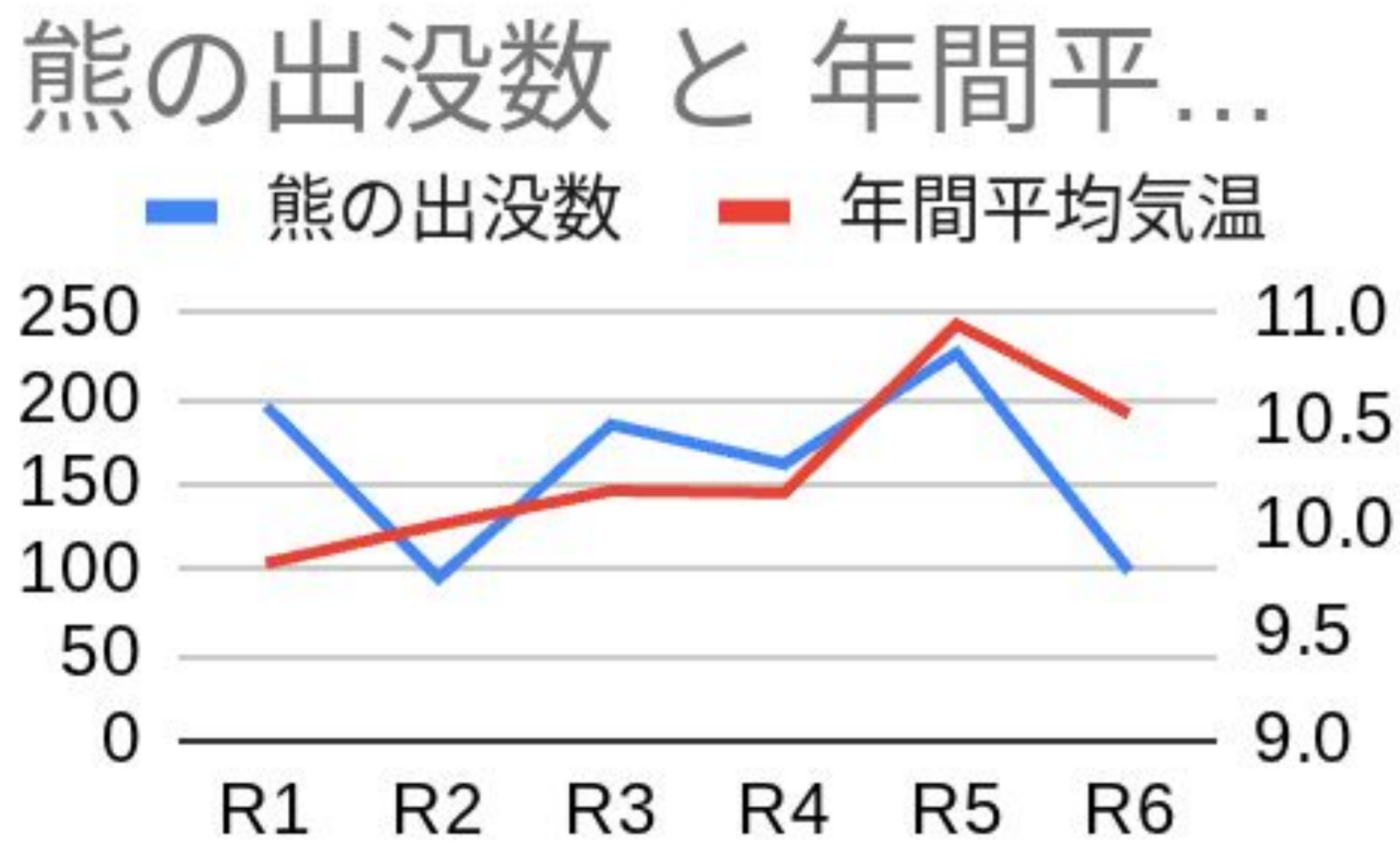
熊の出没数	平均気温
4月	5
5月	15
6月	24
7月	14
8月	5
9月	13
10月	14
11月	8
12~3月	1

結果

どの年も月別平均気温と熊の出没数の変化に関係は見られなかった

仮説②: 年間平均気温が上がると熊の出没数は増える

検証: R1~R6の月間平均気温を下に年間平均気温を求めたものと熊の出没数をグラフにして関係を調べる。



年号	熊の出没数	最低気温
R1	196	13.1
R2	95	14.9
R3	185	12.6
R4	162	10.4
R5	227	13.2
R6	99	10.6

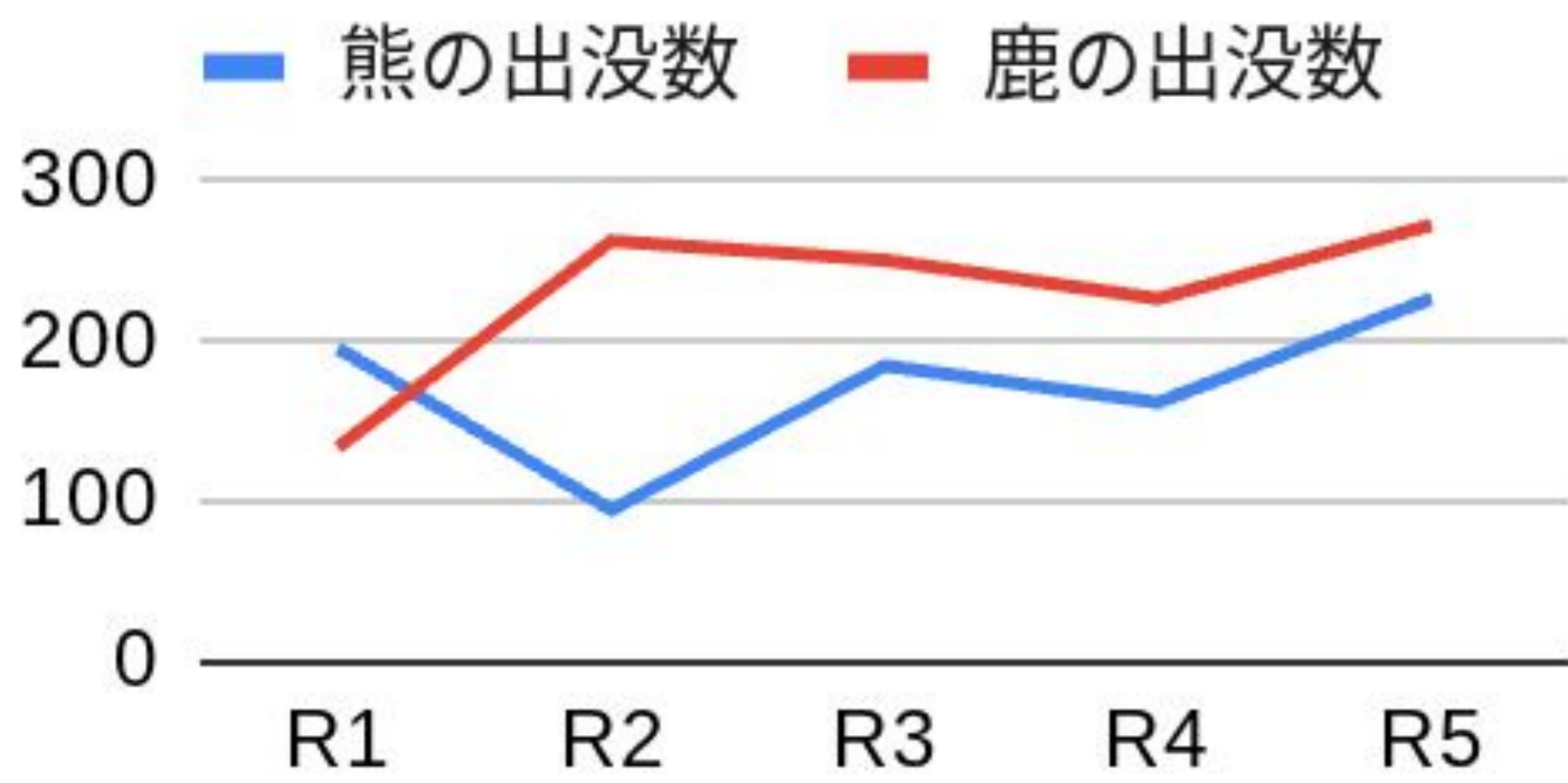
結果

比例している年もあるがばらつきが多く、関係性があるとは言い難い。

仮説③:鹿の出没数が増加すると熊の出没数も増加する

検証:R1~R6の都市別の鹿の出没数と熊の出没数をグラフにして関係を調べる

熊の出没数 と 鹿の出...



年号	熊の出没数	鹿の出没数
R1	196	134
R2	95	263
R3	185	251
R4	162	227
R5	227	273

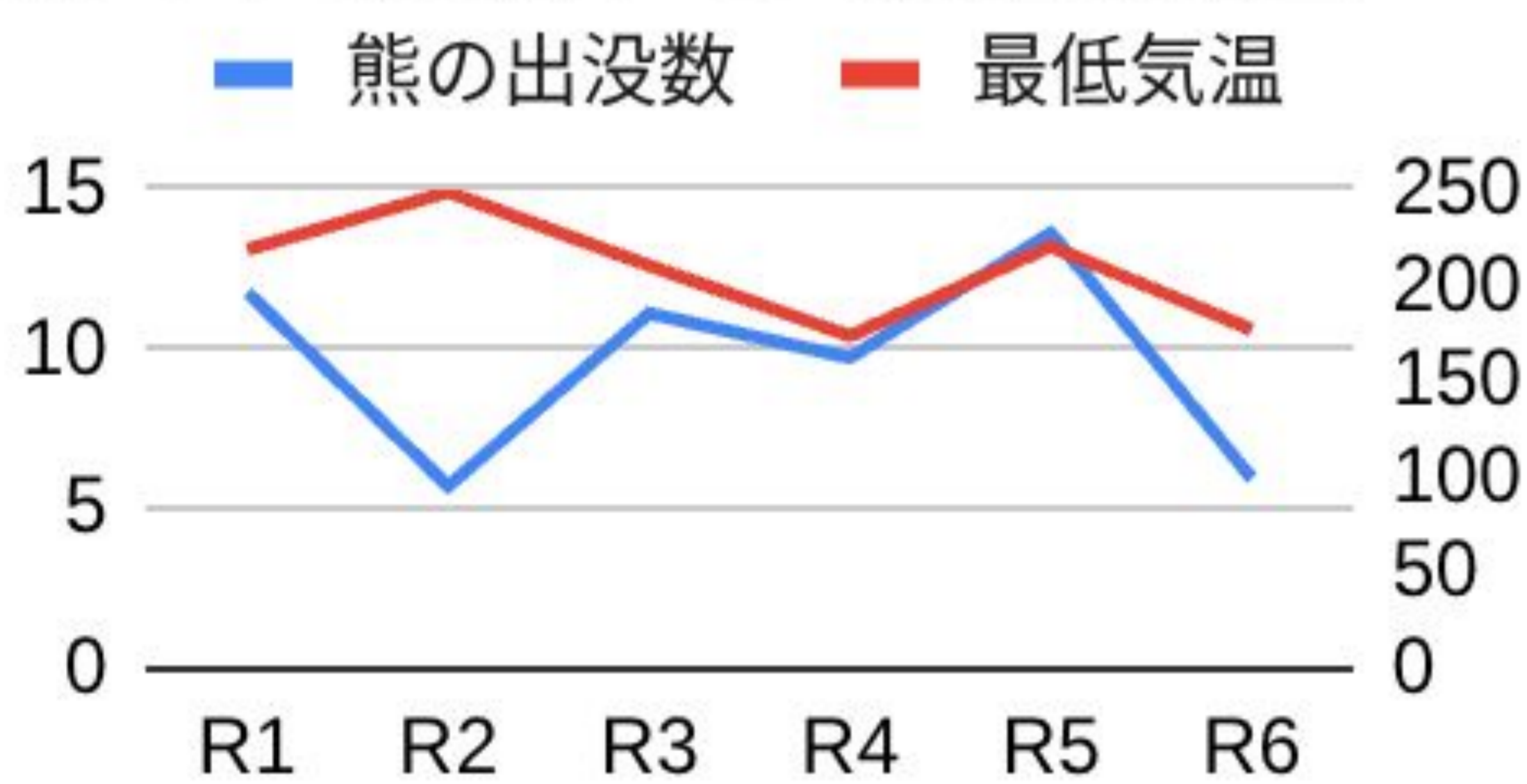
結果

R2以外では関係性がみられた

仮説④:最低気温が高いほど熊の出没数も増える

検証:R1~R6の年別最低気温と熊の出没数をグラフにして関係を調べる

熊の出没数 と 最低気温



年号	熊の出没数	年間平均気温
R1	196	9.83
R2	95	10.01
R3	185	10.17
R4	162	10.16
R5	227	10.95
R6	99	10.53

結果

R2以外では関係性がみられた

まとめ

○月ごとの平均気温・年間平均気温

⇒関係無し

○鹿の個体数・最低気温

⇒令和2年以外は関係が見られた。

これらの検証結果を受けて、令和2年はコロナウイルスが流行り始めた頃のため、データの数値に変化があるのではないかと考えた。また、今回の探求では最初にくつかのかSDつを立てたがデータが集められないものだったり、全く関係のないものがあったりと、想定していたよりもかなり苦戦したので、こういった経験も今後の探究学習に活かしていきたいと思った。